

ヒューマンサービス学会設立趣意書

神奈川県立保健福祉大学は、そのミッションである“ヒューマンサービス”を実現するために、人間総合を基盤として保健医療福祉の中心的役割を担う看護、栄養、社会福祉、リハビリテーションの各分野の人材を育成する大学として、2003年に開学しました。

その理念について、初代学長の阿部志郎氏は、以下のように定義しています。

「ヒューマンサービスとは、保健・医療・福祉が、人間の直面する多様な問題に全人的に対応し、その成長発達を支援するサービスがそれぞれ固有の機能と役割を果たしながら、専門間の調整を図り、包括的共同目標に向けて連携と両立可能性を深め、誰をも排除することなく利用者主体のサービスに統合し実践性を孕む理念・方法・システムを構築して、市民参加のコミュニティを基盤とする人間と人類の幸福を追求する新しい文化の創造を目指すパラダイムをいう。(ヒューマンサービス用語集, 2012)」

このミッションの下にある本学の活動を基盤として、現在まで数多くの卒業生を、県内を中心として送り出しました。また、2017年に大学院博士後期課程を設置、2019年に大学院ヘルスイノベーション研究科を設置して、保健・医療・福祉分野で、そしてグローバルに研究活動を担える人材を育成しつつあります。

本来、ヒューマンサービスは現場の実践と一体となった活動であり、これらの過程において私たちは、積極的に“ヒューマンサービスの実践”を打ち出しました。2010年に「ヒューマンサービス研究会」を立ち上げ、講演会やシンポジウム等の交流会、研究会冊子の発行など、様々な活動を行いその活動も10年を経ました。

次に目指すべきことは、ヒューマンサービスの実践を教育や研究という形で有機的に循環するしくみを作ることと考えます。例えば、本学卒業生がヒューマンサービスの実践について研究を通して再び学習する、その成果を活用し在学生の教育に還元する、学んだ在学生はより豊かなヒューマンサービスの実践者へと成長していく、といった生きた循環をつくるということです。

このような考えのもと、私たちは、ヒューマンサービスの実現について多彩な専門職者、が集い、教育・研究・実践の探究を通して成長しあえる、さらには実践活動を学術的レベルまでに深化・発展することをめざし、この度、ヒューマンサービス学会を設立したいと思います。”

本会は、わが国におけるヒューマンサービスにかかる教育・研究・実践の探求、および普及・啓発を図ることを目的とします。

本会の目的を達成するために、以下の事業を行います。

1. 学術集会を開催する。
2. 学会誌等を発行する。
3. ヒューマンサービスに関する調査・研究を行う。
4. ヒューマンサービスに関する教育・研究・実践の有機的循環を促進する活動を行う。
5. その他理事会が必要と認めた事業を行う。

以上の趣旨に賛同する様々な分野の方の参加をお待ちしています。

2023年3月20日

発起人代表 中村 丁次（公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 学長）

発起人一同（五十音順）

白井正樹（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）

岸川学（ヒューマンサービス委員）

熊谷圭二郎（神奈川県立保健福祉大学）

五味郁子（ヒューマンサービス委員）

白水眞理子（姫路大学）

金龍哲（東京福祉大学）

隆島研吾（前神奈川県立保健福祉大学）

田口健介（東京慈恵会医科大学附属柏病院・本学同窓会事務局長）

玉川淳（ヒューマンサービス委員）

鄭雄一（副学長・SHI 研究科長）

豊倉いつみ（神奈川県・本学同窓会 SHI 部門副会長）

水戸優子（ヒューマンサービス委員）

村上明美（学部長）

森田千晶（ヒューマンサービス委員）